授業科目名・形態	高齢者保健活動論 演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
担当者氏名	下園 美保子	実務経験の有無	有	開講期	3年前期

【授業の主題】

高齢者保健医療福祉の動向と施策の変遷、及び高齢者の特徴から現在の高齢者の健康課題と支援の在り方を学び、高齢者保健活動の現状と課題及び保健師の役割を学修する。また演習を通じて、高齢者保健分野における公衆衛生看護展開の技術を学ぶ。

【到達目標】

1. 高齢者保健福祉の動向と対策の現状から、現在の高齢者の健康課題と支援の課題が説明できる。
2. 社会的環境と健康との関連及び健康の社会的決定要因について説明できる。
3. 地域包括支援システムを構築する公衆衛生看護活動のポイントが説明できる。
4. 孤立予防、フレイル予防を目指した公衆衛生看護活動のポイントが説明できる。
5. 高齢者保健分野における公衆衛生看護展開の技術と保健師の役割が説明できる。

【授業計画・内容】

- 第1回 高齢者保健福祉の動向と対策の現状
- 第2回 社会構造と健康・疾病との関係 総論
- 第3回 社会構造と健康・疾病との関係 健康の社会的決定要因
- 第4回 地域包括ケアシステム 介護保険法の概要と変遷、地域包括ケアシステムの概念と変遷
- 第5回 地域包括ケアシステム 社会的背景、地域包括支援センター、PDCA サイクル
- 第6回 地域包括ケアシステム 認知症高齢者の早期発見対応システムおよび支援ネットワーク
- 第7回 地域包括ケアシステム 地域格差、新規事業の創設、地域ぐるみで解決
- 第8回 フレイル、社会的孤立の実態と住民主体のフレイル予防
- 第9回 高齢者の健康・高齢者のアセスメントツール
- 第10回 孤立予防・フレイル予防をめざした公衆衛生看護活動
- 第11回 演習 事例展開 事例紹介、情報整理
- 第12回 演習 事例展開 情報整理、アセスメン
- 第13回 演習 事例展開 アセスメント、看護計画
- 第14回 事例展開 看護計画、発表資料作成
- 第15回 発表、まとめ

【授業実施方法】

講義、演習

【授業準備】

2年生までの関連する科目（老年看護学）で学んだことを復習し、教科書を読んで講義に臨む。予習では教科書に出てくる用語の意味を調べておく。

【主な関連する科目】

「保健医療福祉行政論」、「公衆衛生看護学」の科目および実習

【教科書等】

公衆衛生看護学テキスト③ 公衆衛生看護活動Ⅰ 第2版. 医歯薬出版株式会社
国民衛生の動向 2022/2023. 厚生労働統計協会

【参考文献】

標準保健師講座③ 対象別公衆衛生看護活動. 医学書院
近藤克則著. 健康格差社会 - 何が心と健康を蝕むのか -. 医学書院
近藤克則編. 検証「健康格差社会」. 医学書院
近藤尚己著. 健康格差対策の進め方 - 効果をもたらす5つの視点 -. 医学書院
渡部律子著. 高齢者援助における相談面接の理論と実際 第2版. 医歯薬出版

【成績評価方法】

筆記試験 80%、課題提出 10%、授業態度等 10%

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

保健師として高齢者支援に関わってきたことから、現在の高齢者の実態を伝え、今後の高齢社会に向けて社会に関心を持ち、関係機関との連携や社会資源活用等に対応できる保健師の姿を取り入れた授業をしていきたい。

【学生へのメッセージ】

高齢化率の上昇に伴う社会情勢に関心を持ち、高齢者の自立支援を促す個人・家庭・地域のエンパワーメントを高めるための、保健師の役割やそれを支える法律・制度について理解を深めてください。また、地域包括ケアシステムの構築を目指す中で、生涯住みなれた地域で生活していくための高齢社会を支える保健師の姿を思い描きながら授業に臨んでください。